

チンパンジー・サンクチュアリ・宇土



2007年4月、対岸に長崎雲仙普賢岳を望む熊本県宇土半島に「チンパンジー・サンクチュアリ・宇土（CSU）」が設立されました。ここは日本で最初のチンパンジーのためのサンクチュアリ（保護施設）です。

現在、CSUには日本にいる約330頭のチンパンジーのおよそ六分の一にあたる53頭が暮らしています。熊本県は日本一チンパンジー密度が高い県なのです。

CSUではチンパンジーの心身の幸福を満たす飼育管理を実践しており、福祉や長寿に関する研究も進めています。ここは動物園ではなく研究機関です。スタッフはCSUのキャッチフレーズである「チンパンジーが笑う山」を目指し、日々奮闘しています。

CSUレクチャー紹介

「知っとるね？ チンパンジー」

チンパンジーは私たちと同じように、仲間と暮らし、笑ったり怒ったり遊んだりけんかしたりしながら暮らしています。

チンパンジーが笑った顔を見たことがありますか？ チンパンジーが怒った顔ってどんな顔？ チンパンジーの笑い声って？ 四六時中付き合っているからこそ感じる事ができるチンパンジーの魅力をお伝えします。

